

THE リアルタイム

《「THE リアルタイム」は利用登録者の皆さん、並びに地域の方々を対象にお届けします。》

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町 59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

リアルショット!

6月4日のパン工場の
開店目指して!
(工房4の利用者さん)



《ご挨拶》

昨年10月、サポートセンター連はここ柏町の地でゆっくり歩きはじめました。連は障害の方やその家族の方が地域の中で安心して暮らしていただくために日中活動・生活支援・相談支援など複数の機能を持っていますが、この半年間は職員不足の面もあり事業全般をフル稼働という訳にはいきませんでした。一方で、生活支援事業の登録者数は4月末で218名となっており、大変多くの方が連の利用を心待ちにされていることが伺えます。そのため開所2年目を迎える20年度については、利用できる日数の拡大や緊急時の受止めができる体制を持つべく運営を計画的に進めていく所存です。

まだまだ皆様のご協力とご理解が必要な連ですが、広報誌「THE.リアルタイム」を通して各事業の情報を発信し、地域や利用者の皆さんにとって、連が身近な存在になっていただけることを目指していききたいと思います。(白鳥)

《目次》

P.1 表紙・ご挨拶・目次

P.3 生活支援事業・相談窓口のご案内

P.2 日中活動支援事業

P.4 地域交流・編集後記

日中活動支援

昨年10月、日々10名弱の利用者数からスタートした日中活動支援ですが、半年の間で少しずつ登録者数も増え、新年度を迎えたことで登録者数は36名、日々16～17名程の方に利用いただいています。そのような利用者数の増加に合わせて、5月から3グループ体制での活動をスタートしました。より一人ひとりに合わせた活動、そして、地域とのつながりの持てる活動を目指していきたいと思います。

工房2



5月からの新しいグループです。利用者さん一人ひとりとじっくり関わりを持ちながら活動を模索し、少しずつ展開することを目指します！

- ①男性10名 女性8名
- ②「洗練された」「まとまり」「80's」
- ③クッキング、リラクゼーション、話し合い

工房3



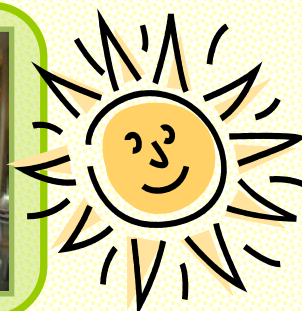
身体を動かすこと、体感することが得意な方たちのグループです。それぞれのペースを尊重しながら、工房3オリジナルな活動を目指します！

- ①女性7名 男性2名
- ②「元気いっぱい」「自由奔放」「ラブリー」
- ③紙すき、散歩、音楽プログラム

工房4

パン作業を中心に、作業的な活動に取り組むグループです。でも、楽しむ時は楽しむ！ONとOFFのメリハリがモットーです。

- ①男性5名 女性4名
- ②「はたらく」「楽しむ」「仲間」
- ③パン作り、ペンキ塗り、組みひも



※グループ紹介：①利用者の男女構成 ②雰囲気を表わすキーワードを3つ ③得意な活動

お知らせ

- 家族連絡会について
日中活動を利用されている利用者さんの家族の方を対象に家族連絡会を開催します。開催頻度は年4回(6・9・12・3)を予定しています。なお、開催曜日につきましてはできるだけ多くの方に参加していただくためにも、月によって曜日を変更するなどの工夫をしていきますのでよろしくお願いいたします。
☆ 6月は20日(金)10:30からとなります。なお、連絡会后、給食の試食会を予定しています。
☆ 出欠席の連絡方法については、日中活動より別途連絡をいたします。
- 健康診断書の提出について
日中活動を利用されている方の健康面の把握及び必要なサポートを目的に、健康診断書の提出(1/年)をお願いいたします。なお、他事業所に提出されている方についてはそのコピーで構いません。詳しくは日中活動より連絡いたします。
- 4月よりゆうちょ銀行(旧郵便局)の自動口座振替手続きが完了致しました。利用料の支払につきましてはお手数をお掛けしておりましたが5月27日より(毎月27日)ようやく引落が開始となります。

相談窓口のご案内



「横浜市障害者相談支援事業」として横浜市より委託を受けて実施しています

障害があることで心配事や困っていることなど、どうしていいかわからずに悩んでいませんか？「こんな時、どこに相談すればいいのだろう…」「こんなことくらいで相談してもいいのかなあ…」なんて迷ってはいませんか？どんな些細なことでも結構です。とにかく気軽にお電話下さい。

連はいつもあなたの身近なよろず相談室でありたい・・・そう願っています。

【相談日】月～金 9:00～17:00

【対象者】

横浜市内に居住している方か住所がある方。(障害種別は問いません)

【費用】無料です。

【連絡先】tel: 360-9779 fax: 360-7004

みのわ
(箕輪)



ショートステイ&一時ケア

緊急時や家族のリフレッシュ、将来に向けた体験として、宿泊(1～2泊)を行っています。普段と同じ生活ペースを大切に、穏やかに過ごしています。音楽を聴いたり、会話を楽しんだり、みなさんが自分の時間をつくっています。いつでも安心して泊まることの出来る場所を目指しています。



一時ケア

好きな過ごし方や遊びを通して、年齢に応じた経験を大切に過ごしています。連の中で遊ぶほか、散歩に出かけたり、暖かい日は屋上でくつろぐこともあり、皆さん楽しそうな表情を見せています。これからはビニールプールを出して、楽しもうと思います。放課後や休日のひと時が充実するようにお手伝いします。



ご案内

- ◇ 一時ケアの送迎…申込みに応じて特別支援学校、バスポイント等、体制上可能な範囲で個別に行います。なお、特定の学校への「定期便」は実施しません。
- ◇ 7月から土・日曜も含めて一時ケアを実施します。現在、ショートステイは月～金曜に実施していますが、下半期(10月くらい)から週7日実施できるように準備していきます。
- ◇ 夏休みの余暇プログラム
夏休み期間中、動物園やプールに出かけたり、バーベキュー、うどん作り体験など、楽しく遊べる企画を予定しています。詳細は別紙にてご案内いたします。お楽しみに！



オープンしま～す！ 6月4日(水)11:00～

パンを焼く香りがする店

こんがり工房

店長のおすすめパン！



先着50名様には
素敵なプレゼント
もありま～す。

「おもちゃ文庫スペシャルイベント」のお知らせ！

【日時】 6月11日(水) 11:00～12:00

【場所】 サポートセンター連 2階地域交流室

「人形劇」「エプロンシアター」
「パネルシアター」「カエル合唱団」など
「おはなしつくんこ」さんが登場します！

***無料です！**



- ※ 必ず保護者同伴をお願いします
- ※ 車でのご来場はご遠慮下さい

【問合せ】 サポートセンター連 薄葉まで

地域交流室の利用状況

いつも地域交流室をご利用いただきありがとうございます。連の地域交流室は、地域の様々な活動グループの方々に貸出しをする場所として2階に設置しています。

昨年の開所から現在までに、毎月12～15グループくらいの方々がコンスタントに利用されている状況です。(予約は2ヶ月先までです)

今後も利用グループが増えた場合、利用調整が必要になり申込通りの日時でお受けできない場合がありますので予めご了承下さい。

編集後記

連が開所してから3カ月が経過した試行錯誤真っ只中の昨年12月末、通所を一日お休みにさせていただき、3カ月の振り替わりとこれからの基盤作りに向けて職員研修を行うべく、障害当事者である渋谷治巳さん(障害者の自立と文化を拓く会)に来ていただき講演していただきました。その中で、支援者である私たちに向けて「自己点検を怠るな！」とのメッセージをいただきました。開所したての施設はいろんな意味で勢いづいています。しかし、勢いに任せて私たちの仕事の矛先がぶれることのないように、「自己点検」は個人として組織として重要なテーマになります。例えば福祉がサービス化されてきている昨今、障害の人たちを「介護」の対象とだけ見てしまい、物質化されたサービスを提供するだけの福祉では、とても障害の人達を主体にしている福祉とは言えないでしょう。障害の有無に関わらず、活動(役割)にやりがいを見つけたり生活面の何かに目標や意欲を持つことで、人は人生の豊かさをリアルに感じることができます。利用者さんにとっても、また、障害の方たちへの関わりを志して連に集まってきた支援スタッフにとっても…誰のものでもない自分自身の人生をよりリアルに感じるために、「THE リアルタイム」を連の広報誌として発行することとします。

発行頻度は四半期ごとを目指します。みなさんよろしくお願ひいたします。(白鳥)